

三原市久井歴史民俗資料館 vol.34

モーモー通信

資料館にある陣笠を 紹介するモー その1



陣笠を知っていますか？かさといっても手に持つ傘ではなく、頭にかぶる今の制帽やヘルメットのようなものです。誰もがかぶっていたものではなく、陣とは戦いの編成を意味し、戦国時代では足軽（戦時の際の軽装武士）がかぶとの代わりに使いました。江戸時代になると武士等が外出に使い、明治時代では地方の有力者が用いていました。笠の材質は木、革、紙、糸、鉄などがあり形も様々です。

久井資料館にある陣笠だモー



りゅう 龍のもよう！かっこいいモー

むぎ 麦わら ぼうし 帽子み
たいだモー

資料館にある陣笠は、約150年前頃に村役人や神職が使ったものです。笠の材料はさまざまで、すべて上から漆（漆の木の樹液）と顔料で塗り固めています。重厚な見た目ですが、持つと軽く感じます。

カサはカサでも…



明治時代に使われた平らな形の陣笠です。牛革素材に黒色の漆が塗られ、金の梅の紋と龍のデザインがほどこされています。

江戸時代の終わりから明治時代の初めに、久井稲生神社で使われた陣笠です。太い糸で編まれた素材の上から黒色の漆で塗り固められています。

次号は、陣笠をもっとくわしく！



◆ 久井八景 ◆

久井ではいつの頃から、古文書の和歌に登場する久井の美しい景色を「久井八景」と親しんできました。その景色を8回にわたりご紹介します。

社頭の藤

みづ垣にしらがみさがる藤なみの
花こそ神のゆかりなるらん

社頭とは久井稲生神社のことです。
和歌にうたわれた藤なみは、現在はありません。
遠くから眺める神社と藤の花がマッチしてとても神々しく美しかったそうです。

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.html>

★「モーモー通信」HP ★



つづきは資料館で …

〒722-1303
三原市久井町下津 1397
三原市久井歴史民俗資料館
TEL・FAX 0847-32-7139
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館), 年末年始
アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

